

三菱UFJ銀 最低更新

三菱東京UFJ銀行が7月から、一部の住宅ローンの金利を過去最低の水準まで引き下げることが23日、分かった。10年固定型で最も信用度の高い人に適用する金利(最優遇金利)を0.3%引き下げて年0.55%とし、同行では最低を更新する。日本銀行のマイナス金利導入から4か月が過ぎ、住宅ローン金利の低下は一服していた。最大手行の攻勢で、銀行間の引き下げ競

住宅ローン金利 来月から0.3%下げ

争が再び活発になりそうだ。今回の0.3%の下げ幅も、2009年4月以降で最大となる。同じ条件の人に適用していた金利は、マイナス金利導入前の1月時点は年1.1%だった。3月に一時、0.8%まで引き下げたが、4と6月は0.85と0.9%だった。

他のメガバンクの10年固定型の最優遇金利(6月1日時点)は、三井住友銀行が0.85%、みずほ銀行は0.8%。三菱東京UFJ銀の大幅引き下げで、他行が追随する可能性もある。